

第 1 回「避難指示解除に関する有識者検証委員会」フォローアップ会合

議事要旨

1 日時、議事内容等

日時	平成 28 年 12 月 5 日（月） 14 : 00～17 : 00
場所	浪江町役場二本松事務所 2 階中会議室 3
構成員 出席者	吉岡 正彦（座長）、佐藤 秀三（副座長）、塚田 祥文、間野 博、阿久津 雅信、阿部 高浩、内海 ひとみ、大波 大久、岡 洋子、岸 眞、佐々木 敏、杉本 俊郎、鈴木 義雄、関根 俊二
議事内容	1 フォローアップ会合の目的 2 避難指示解除に関する有識者検証委員会報告書 3 課題の進捗確認

2 議事

発言者	要旨
	1 フォローアップ会合の目的 意見なし
	2 避難指示解除に関する有識者検証委員会報告書 意見なし
佐藤 秀三	3 課題の進捗確認 <平成 29 年 3 月までに最優先に取り組むべき 16 の課題> 【インフラ復旧】 6 <u>上水道の確実な復旧</u> ・冬期間水道凍結の恐れがあるので、水抜き等するよう周知を徹底すべき。 集会所なども対応を行うべき。
ふるさと再生 課長	・ 12 月広報とホームページにご指摘の内容を掲載している。

<p>鈴木 義雄 ふるさと再生 課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・上水道は、飲用として大丈夫か。 ・水道水は問題ない。
<p>佐藤 秀三 議長（座長） 岡 洋子 ふるさと再生 課長</p>	<p><u>7 下水道の確実な復旧</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・浄化槽がつながる側溝が、落ち葉等で詰まっいて流せないという話を聞いた。対策を行うべき。要望です。 ・担当でご検討ください。 ・浄化槽の清掃や修繕等について、補助はあるのか。 ・環境省で一回限り浄化槽の清掃及びし尿のくみ取りを実施している。
<p>佐藤 秀三 まちづくり整 備課長</p>	<p><u>8 JR 常磐線の全線復旧に向けた継続的取組</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅から遠い所に自宅がある人について、自宅までの交通手段を確保すべき。 ・デマンドタクシーの運行で対応する予定である。
<p>関根 俊二 議長（座長） 佐藤 秀三 宮口副町長</p>	<p>【生活環境整備】</p> <p><u>9 医療施設及び医療従事者の確保</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療従事者の確保について、国、県はあてにならない。町が一所懸命やっている状況。浪江診療所の医師について、現時点では確保できているが、今度どのくらいの期間いてくれるかが心配。医療従事者の確保は今後も重点的にお願いしたい。 ・現場からのご意見ありがとうございます。 ・浪江町内に、医療従事者の宿舎を確保して、町が提供すべき。 ・南相馬市に町が宿舎を確保する予定である。いずれは、浪江町内に宿舎が必要になる。

<p>間野 博 健康保険課長</p> <p>鈴木 義雄 健康保険課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・CT室やリハビリ室があるが、放射線技師や理学療法士は必要ないのか。 ・必要です。しかしながら、浪江町内での確保が難しい。二本松市の仮設津島診療所から出張させる予定である。 ・浪江診療所で夜間診療は行うのか。 ・現在のところ、夜間診療を行う計画はありません。救急に対しては、浪江消防署が常駐しておりますので、119番通報で対応します。
<p>杉本 俊郎</p> <p>議長（座長）</p> <p>岡 洋子</p> <p>介護福祉課長</p>	<p><u>10 介護サービスの段階的環境整備</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・社協は11月1日から浪江に事務所を戻して福祉の相談等を行っている。来春からは、訪問介護についてサポートセンターとして実施する予定。現在有資格者2名を確保しており、今後更にケアマネなどを募集する。人材確保について、国、県はあてにならないので自分でつてを頼ってやるしかない。 ・ご意見ありがとうございます。 ・帰町にあたっては、介護が一番問題。職員数が少ないと、一人一人に負担がかかるので、事前の準備が重要と思う。 ・現段階で最低限の人数は確保できる見込みです。ご指摘のとおり、ある程度の余裕がなければなりませんので、引き続き人員確保に努めます。
<p>鈴木 義雄</p> <p>阿久津 雅信</p>	<p><u>11 買い物ができる環境の整備</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の仮設商業施設の店では、生活するには足りない。 ・医療や介護と同じで人手不足である。また、通常よりも人件費が高くなるので運営の難しさもある。富岡のさくらモールは時給1,250円。まちなみ・まるしえは時給1,000円でやっている。ちなみに、客は町民が3割、作業員3割、役場に来る人3割、役場職員1割である。週末は町内に視察研修で来る人が多い。

<p>佐藤 秀三</p> <p>鈴木 義雄</p> <p>まちづくり整備課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・準備宿泊している人は、高齢者だからという理由で働くことをあきらめている人が多い。ただでも良いから働きたいという人もいる。 ・空き店舗の活用なども考えるべき。 ・空き家・空き地バンクは現在のところ住宅のみを想定としている。事業関係は今後の検討になると思う。
<p>鈴木 義雄</p> <p>産業振興課商工労働係長</p>	<p><u>1 2 事業者再開支援</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・3割補助の事業の対象事業者は、まち・なみ・まるしえだけか。 ・他にも一定の要件を満たしていれば、対象事業者となる。
<p>佐藤 秀三</p> <p>議長（座長）</p>	<p><u>1 3 郵便再開</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ローソンの中にポストがあるが、利用する際に何か買わないと悪い気がする。役場前のポストを再開すべき。 ・ご意見として承りましょう。
<p>岡 洋子</p> <p>間野 博</p> <p>帰町準備室長</p> <p>佐藤 秀三</p>	<p><u>1 4 原子力災害に対応した安全確保体制の整備</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・主婦には専門的なことは分らないので、わかりやすく説明していただくことと、今後放射性物質が飛散等することが絶対にならないようにすることが重要。役場でも、知識を持って、みんなで対応していくことが必要。 ・有識者検証委員会では、東電からの情報について、町民がどう解釈してどう行動するかが分らないので、分るように情報伝達すべきという話があった。通報連絡体制のなかに、そのようなことが盛り込まれているのか。 ・今年度末までに地域防災計画を見直しする。町民の方にはパンフレットなどにより丁寧に説明していく。 ・先日の地震、津波の際、楢葉では80人の職員のうち13人しか役場に来ず、災害対策本部の設置も遅れたと聞いている。浪江町役場はすぐに対

	<p>応することができた。役場を褒めたい。</p>
<p>阿久津 雅信 ふるさと再生 課長</p> <p>塚田 祥文</p>	<p>【放射線対策】</p> <p><u>1 5 モニタリング体制整備</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・上水道の 24 時間の監視体制は現時点ではまだできていないのか。 ・現在のところ機械による自動測定はできていないが、職員が毎日手作業で確認している。1 2 月中に測定機器の整備が完了する。 <ul style="list-style-type: none"> ・濁った井戸水が心配という相談を受けて計測したところ、線量が高かったケースがあった。浅井戸で水が濁っている時には、市販されている簡易のフィルターでも良いので、つけるように町から指導した方が良い。
<p>岡 洋子</p> <p>鈴木 義雄 本間副町長</p> <p>大波 大久</p> <p>岸 眞</p> <p>佐藤 秀三</p> <p>塚田 祥文</p>	<p><u>1 6 放射線相談窓口の設置</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・除染した後、再除染したという話を聞くが、町では情報を把握しているのか。 ・フォローアップ除染が 1 回で終わってしまわないかが心配。 ・除染について詳しくは第 2 回で触れますが、線量の高いところは何度も何度も除染する必要があると環境省と話し合っているところである。 ・川添地区では、環境省から、除染後のモニタリングを実施する旨の通知が 1 2 月から発送される。不安な人は立ち会った方が良い。納得しなければ再除染すると言っていたので、町からも周知しておくが良い。 ・準備宿泊時に放射線相談員に相談したところ、自宅まで出向いて懇切丁寧に説明してくれた。数字を言われてもピンとこないが、胸部レントゲンと比較するなどして説明してくれたのでわかりやすかった。 ・町内が、福島などと比較しても低線量であることなどをもっとアピールすべきという町民の声もある。 ・家庭菜園の作物の測定など、安全面でのサポートを放射線相談員ができ

	ると良い。
	<p><避難指示解除後も継続して取り組むべき課題></p> <p>2 生活環境整備</p> <p><u>(1)産業創出</u></p> <p>意見なし</p>
塚田 祥文 本間副町長	<p><u>(2)農業再開</u></p> <p>・自家用の米の栽培についても、カリウムの肥料を入れるように町から指導すべき。基準を超えたものが出ると影響が全体に及ぶ。</p> <p>・これから町内で米を作る場合、農事復興組合のメンバーが行うことになると思う。ご指摘の内容を農事復興組合に周知していく。</p>
岸 眞	<p>・春菊など野菜を5種類栽培してみたが、いずれも基準の100ベクレル未満だったので、食べられる。安心して農業ができる結果だった。</p>
関根 俊二	<p>・実は、日本の基準は世界的にみて高い。韓国は380ベクレル。欧米はもっと高い。</p>
塚田 祥文	<p>・震災前は日本も300ベクレルだった。これは輸入食品を対象とした基準である。100ベクレルは、いつも食べる自国の作物の基準としてさらに厳しくした。国が根拠を持って定めた基準なので安全である。野生のキノコは高いものもあるのできちんと測定した方が良い。</p>
	<p><u>(3)水産業再開</u></p> <p>意見なし</p>
佐藤 秀三	<p><u>(4)住宅整備</u></p> <p>・災害公営住宅について、体の不自由な親と隣同士で入居したいという要望の人がいる。また、入居手続きが難しいという話もある。帰りたい人の気持ちに即した対応をお願いしたい。</p>

まちづくり整備課長	・ご意見として承ります。
岡 洋子	・幾世橋の住宅の中に、買い物をするところや老人をみてもらえるところなどを作る予定はないのか。車のない人には不便だと思うが。
まちづくり整備課長	・デマンドタクシーを利用していただきたい。
介護福祉課長	・公営住宅の中に介護施設を設置する予定はない。介護事業者に町内に進出していただけるよう努める。
	<u>(5)買い物・交流の場の確保</u> 意見なし
	<u>(6)生活交通の整備</u> 意見なし
	<u>(7)医療体制の整備</u> 意見なし
	<u>(8)介護体制の整備</u> 意見なし
岡 洋子 教育長	<u>(9)教育環境の整備</u> ・浪江にどのくらいの子供が戻ると考えているのか。 ・昨年度の意向調査によれば、直ちに、あるいは少し時間をおいてから戻られるという方が、0歳児から中学生までで40～50人である。
佐藤 秀三	・ある人が浪江に戻る子供が数人なのであれば、スクールバスで南相馬の学校に送ってあげればいいのかと欲していたが、自分は反対である。1人2人でも戻る子供がいれば学校は整備すべきだと思う。
議長（座長）	・ご意見といたします。